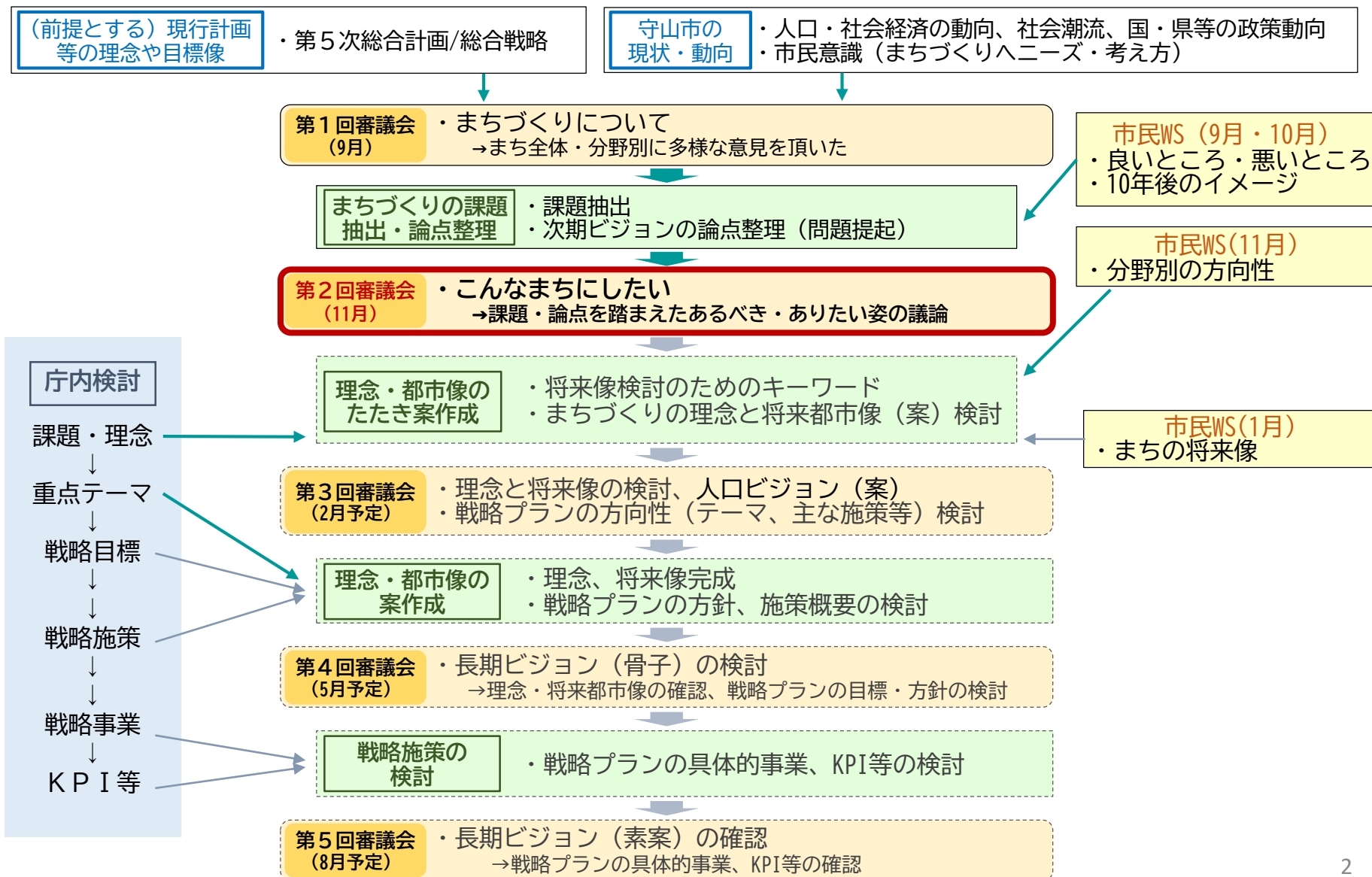


守山市長期ビジョン2035
【第2回総合計画審議会資料】
11月26日（火）

1. ビジョンの策定の流れ



2. 第1回審議会の結果（主な意見）

○将来人口について

- ・強みと課題を踏まえ、今後も人口増を目指すのかの議論が必要
- ・若い世代が転入し、安心して子どもを生み育てていける施策が必要

○まちづくりの方向について

- ・『ふるさと』として誇れるまち、郷土愛にあふれるまち
- ・子どもたちが暮らしやすく生きがいを感じる、自信が持てるまち
- ・駅周辺だけでなく、市全体でバランスのとれた開発や定住促進策が必要
- ・10年後やその先の長い期間にわたって雇用機会を創出できるまち
- ・住民だけでなく、関係人口も、外国人も、色々な「も」を発見できるまち
- ・きらびやかな面と誰もがこぼれ落ちることなくいられるようなバランスが大事

○長期ビジョンの策定方針について

- ・市民や市職員が同じ方向を向き、ひとりでも多くの人が共有できる計画に
- ・声なき声を拾い上げて、様々な人の意見を反映していくことが大事

3. 策定に向けた調査の状況

(1) 現行計画の検証

計画	計画期間	調査実施	調査項目
第5次守山市 総合計画 (後期計画)	令和3年度～ 令和7年度	10月8日～ 10月29日	・実績値 ・目標値達成見込み ・行政項目全体の成果・課題 ・主要施策の成果・課題 ・当該行政項目におけるデジタル施策の方向性
第2期守山市 まち・ひと・ しごと 創生総合戦略	令和2年度～ 令和7年度 ※計画期間1年延長	9月6日～ 10月4日	・KPI達成に向けた取り組みの実績 ・現状の課題や来年度以降の主な取り組み ・KPIの実績値

※総合計画・総合戦略KPIに使用している市民アンケート調査は来年実施予定

3. 策定に向けた調査の状況

(2)市民ワークショップ



<まちへの思いを幅広く抽出する>

第1回
(9/29)
第2回
(10/6)

○守山市ってどんなまち（現状把握）
○10年後の守山市のイメージ

- ・北部と南部で同一内容で各1回開催
- ・16歳から79歳の市民4,000人（無作為抽出）に案内を送付し、10代から70代まで75名が参加



<まちづくり分野別に掘り下げる>

第3回
(11/16)

○分野ごとのありたい姿（課題、方向性）

- ・17歳から75歳の市民20人が参加
- ・子育て・教育、自然・環境、生活利便、住環境、産業など7つの分野別に10年後のありたい姿について意見交換

<まちづくりで大切にしたいこと>

参加者
宿題

○分野を超えて市全体で大切にしたいまちづくりの視点や言葉

<守山市が目指す方向を考える>

第4回
(1/19)

○10年後の守山市が目指す方向
・まちづくりの視点、そこに込める言葉や思いをまとめる

同じ意見・似た意見は一つにまとめています。
紙面編集の都合で一部文章を改変したところがあります。

```

graph LR
    Root[公共施設等] --- PublicFacilities[公共施設が充実、きれい]
    Root --- Library[図書館]
    Root --- JR[JR]
    Root --- Bus[バス]
    Root --- Moped[モーターカー]
    Root --- CommunityBus[コミュニティバス]
    Root --- Road[道路]
    Root --- Bicycle[自転車]
    Root --- Pedestrian[歩行者]
    Root --- Gumi[ゴミ]
    Root --- Water[水道]
    Root --- GuardPost[守山駅]

    PublicFacilities --- PublicFacilitiesList[
        限研吾さん設計  

        役所関係が集中してて便利  

        公共施設きれいですすぐて近寄りがたい  

        維持コストが心配  

        貸出施設の少なさ(予約の多さ)  

        大きい、きれい、オシャレ  

        2箇所あり立ちよりやすい  

        選書が良い  

        ネット予約でき、受取場所を選ぶ  

        土日の駐車場洗滞  

        施設がきれい  

        遠い、バスが不便  

        テニスコートが充実  

        銀行、ATMが少ない  

        駅から遠い  

        免許センターが市内にある
    ]

    Library --- LibraryList[
        新快速が止まる  

        大塚や京都へのアクセスが便利  

        通勤・通学しやすい  

        経営路線の運行状況に左右される
    ]

    Bus --- BusList[
        運賃が高い  

        便数少ない 不便  

        乗り方がわからない
    ]

    Moped --- MopedList[
        使いわりかにくい  

        便利
    ]

    CommunityBus --- CommunityBusList[
        本数少ない  

        津津まで遠い
    ]

    Road --- RoadList[
        運転しやすい  

        道がきれい  

        袋小路が多い  

        道が細い  

        中山道の一方通行がわかりにくい  

        信号が多い
    ]

    Bicycle --- BicycleList[
        駐警湯大橋夜間のETCレーンが道のみ  

        駅前駐輪場が高い 少ない  

        自転車道が比較的に整備されている  

        走りにくいところがある
    ]

    Pedestrian --- PedestrianList[
        街灯が多く夜歩きやすい  

        街灯が少なく暗い  

        高齢者の車の運転心配
    ]

    Gumi --- GumiList[
        分別が楽になった  

        指定ゴミ袋が高い  

        ゴミ袋に名前を書かないといけない  

        水道代が高い
    ]

    GuardPost --- GuardPostList[
        お店が少ない  

        飲食店が少ない  

        セルバがさびれている  

        施設が充実  

        駅前が栄えている  

        駅前が騒がしくない  

        駅の周りがきれい  

        学生の通りが多い  

        東側は不便  

        駅西側にイベントや施設が集まっている  

        駅前駐輪場が無法地帯化  

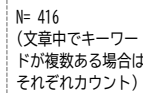
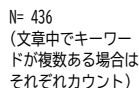
        駅の方の出口にかエレベーターがない  

        駅前ロータリーに鳥のファンが多い
    ]

```



(3) 住民アンケート調査 (良いところ／良くないところ 自由記述分類)

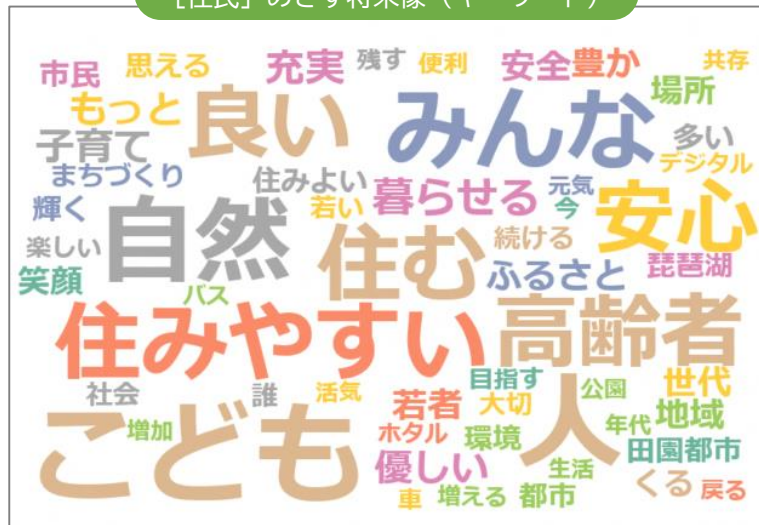


7

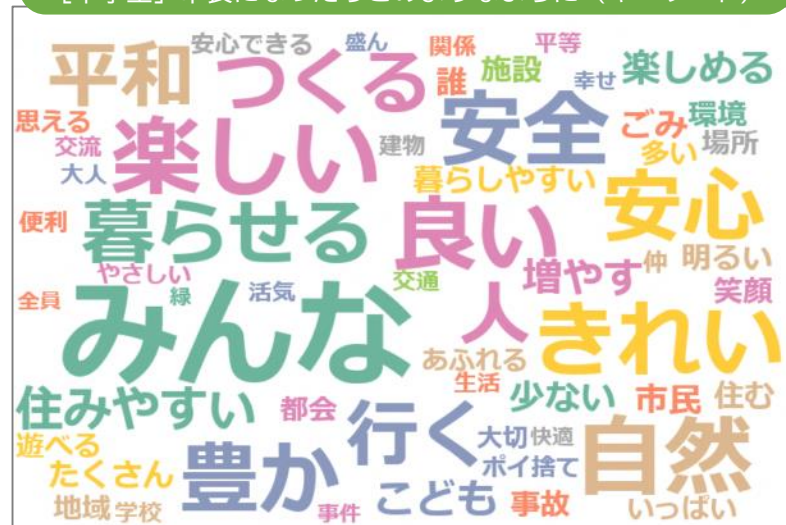
3. 策定に向けた調査の状況

(3)住民アンケート調査（将来の姿 自由記述分類）

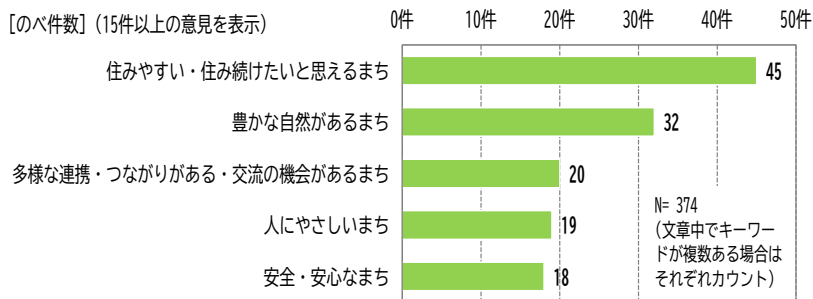
〔住民〕めざす将来像（キーワード）



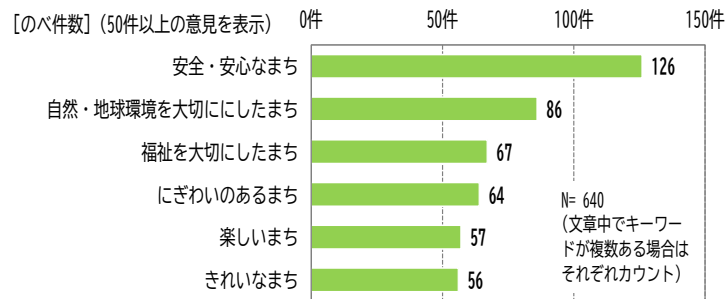
〔中学生〕市長になったらどのようなまちに（キーワード）



〔のべ件数〕（15件以上の意見を表示）



〔のべ件数〕（50件以上の意見を表示）



※キーワードは、自由意見から「単語」を抽出し、出現頻度が高いものほど大きく表示したもの（色はランダムに表示されており意味はない）

4. 守山市の課題等について

守山市の強み・弱み

強 み	弱 み
● 子育て世代の増加と高い出生率 ● 福祉・保健・医療施設が充実 ● 大阪、京都への交通アクセスがよい ● 自然と都市の利便性を兼ね備えた落ち着いた住環境 ● 自然災害が少ない ● 人が優しい ● 琵琶湖、野洲川等の水環境や、田園風景、ホテルの飛ぶ恵まれた自然環境 ● 多様な環境学習の取組み ● 豊富な歴史・文化資源や守山メロンなどの農産物 ● 市民の愛着度や定住意向の高さ ● コミュニティ意識の高さ ● 企業立地の進展、市民交流ゾーンの商業施設開業	□ 待機児童の発生や学童の不足 □ 産院がない □ いじめや不登校、ヤングケアラー等の子どもを取り巻く環境の複雑化 □ 駅前をはじめとした道路渋滞の発生、市内移動の不便さ □ 住宅供給の停滞 □ 農水産業者の高齢化、後継者不足 □ 農業用水、環境用水等の継続的な確保 □ 自然・観光資源の活用不足（琵琶湖や中山道等のポテンシャルを活かしきれていない） □ 自治会加入率の減少や担い手不足、近所付き合いの希薄化 □ 駅前のにぎわい不足 □ 地域差の発生（人口、交通、便利さ） □ 『守山ならでは』と言えるものがない

5. 将来都市像の設定に向けて

(1)時代認識

今が時代の転換点であること

- 人口増加が鈍化し、将来的には人口減少を迎える
- あらゆる地域活動において、担い手不足が顕著
- 今まで通りのやり方では、継続することはできない危機感

5. 将来都市像の設定に向けて

(2) 「守山に住んでいて良かった」、「また守山に戻ってきたい」と実感するまちになるためには・・・

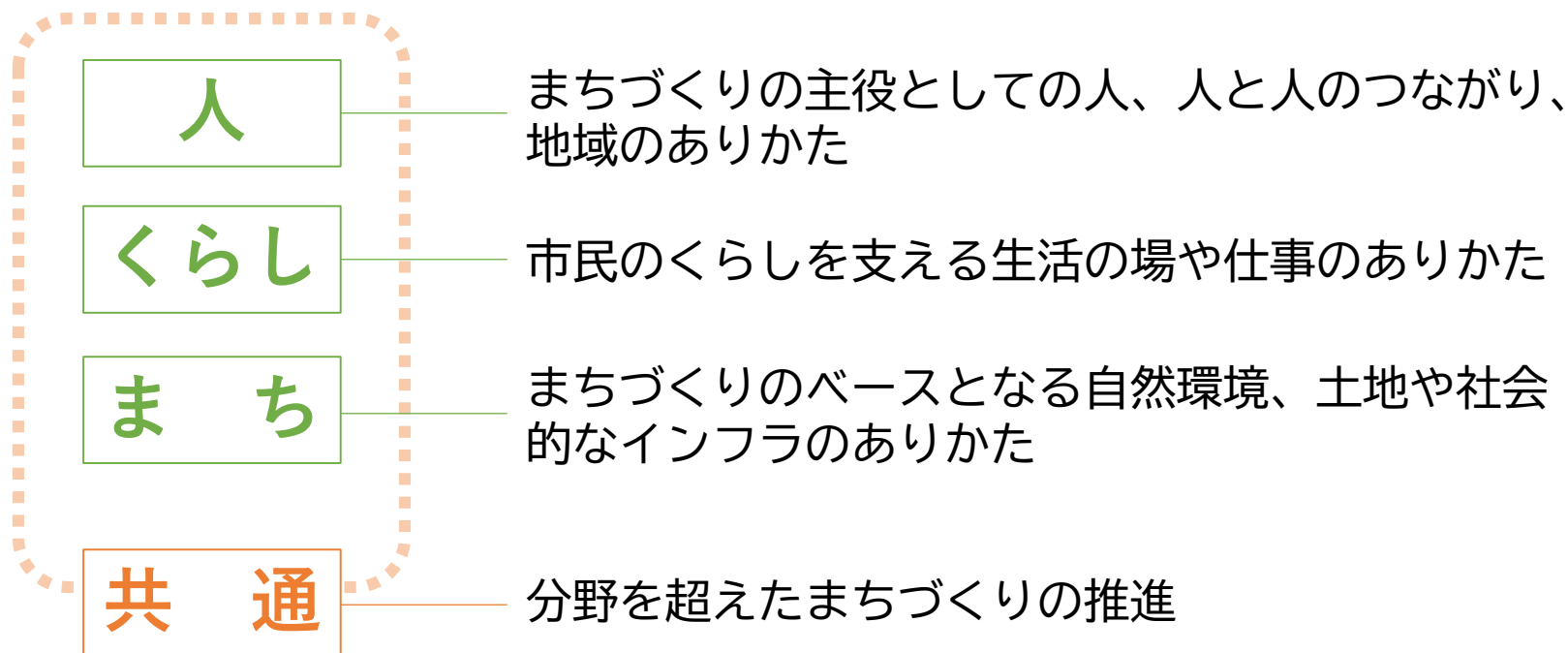
例えば

- ・ 子どもや若者、子育て当事者の視点からの子どもを生み、育てやすい環境づくり
- ・ 誰もが元気に、自分らしく、いきいきと住み続けられるまちづくり
- ・ 住みやすさを形成する自然と都市のバランスの継承
- ・ 激甚化する災害に備えたまちづくり
- ・ 琵琶湖や野洲川等の豊かな環境のポテンシャルを活かしたまちづくり
- ・ 起業家等、若者のチャレンジを応援するまちづくり
- ・ 地域で働き、暮らせるまちづくり
- ・ 守山ならこれ！といった特徴づくり
- ・ 将来の人口減少を見据えたサステイナブルな行政運営

5. 将来都市像の設定に向けて

(3) まちづくりの論点

- 現状・課題分析やこれまでの意見を踏まえ、今後のまちのあり方を考えるための論点を、「人」、「暮らし」、「まち」の3視点で整理
- 加えて、分野を超えてまちづくりを進める共通視点を設定



※「人」、「暮らし」、「まち」、「共通」の論点で一旦整理していますが、本日の議論を踏まえ、再度、整理します。

5. 将来都市像の設定に向けて

(3) まちづくりの論点

人

:まちづくりの主役としての人、人と人のつながり、地域のありかた

■人口のあり方

- ・ 守山市の人口は横ばいになりつつありますが、新たな住宅供給により増加する可能性は高いと考えられます。今後目指すべき人口やその時間的なイメージ、要因となる転入や流出をどう考えていけばよいでしょうか。
- ・ 人口規模に加えて、年齢、国籍などどんな人が住むのか、また昼間人口や関係人口も視野にいったまちづくりが必要ではないでしょうか。

■コミュニティ・共生

- ・ 市民意識の変化や転入者の増加もありコミュニティの担い手が減っています。多世代、様々なバックグラウンドを持つ人が共にコミュニティを育てられるまちはどんなまちでしょうか。
- ・ 特性の異なる地域の自律的なまちづくりや災害・地域福祉なども視野に入れて、地域と行政の協働は一層重要になっています。双方が果たすべき役割は何でしょうか。

■子ども・子育て

- ・ 守山市は子育て世帯に選ばれ出生率が高いですが、他自治体も努力するなかで今後も生み育てたいと思えるまちであり続けるためには、何がポイントとなるでしょうか。
- ・ 子どもは将来のまちづくりの最大の資産です。やがてしっかりした大人に成長し、守山を愛し戻ってきてくれるために、どのような感性や能力を持つ子どもに育ててほしいでしょうか。

5. 将来都市像の設定に向けて

(3) まちづくりの論点

くらし : 市民のくらしを支える生活の場や仕事のありかた

■くらしやすさ

- ・ 転入者の多いまちですが、住んでみたいと思われる魅力はどこにあり何を伸ばせば良いのか、また守山でどんなくらしを実現したいと考えられているのでしょうか。
- ・ 自然と都市施設、静けさとにぎわいといった相反する環境のバランス、くらしやすさを高めるために、安全・安心、利便性、移動などのどこにポイントをおくべきでしょうか。

■仕事、産業

- ・ 農水産業も含め市内産業を盛んにして地域経済循環を高めることが課題です。進んでいる新たな企業立地を活かした事業者(異業種、他業種含む)間の連携、意欲ある若者転入者を活かした起業等の可能性があります、どのような方向で取り組んでいけばよいでしょうか。

■活気

- ・ 身近な自然や歴史、文化資源が豊かで、スポーツ施設なども充実しています。だれもが心身の健康を高め、いきいきとくらししていくために、この環境をどのように活かしていけばよいでしょうか。
- ・ まちの魅力を高める日常的なにぎわいが不足しています。人と人が出会い交流し、わくわくすることができる機会・場は、どのようにしてつくればよいでしょうか。

5. 将来都市像の設定に向けて

(3) まちづくりの論点

まち：まちづくりのベースとなる自然環境、土地や社会的なインフラのあり方

■地域資源

- ・ 守山らしい歴史・文化・自然・都市等の地域資源は、市民の愛着や地域ブランドの形成、観光や商工業の素材等として様々な活かす可能性があります。地域資源の発見、評価、活用のため、また新たな資源を育てることも含めて、どのような方向で取り組むべきでしょうか。
- ・ 琵琶湖や野洲川等の豊かな環境のポテンシャルを最大限活かすため、水辺に触れる自然体験、環境学習等を市民、観光客に対し提供するには、どのような取組を進めるとよいのでしょうか。

■エリアごとの土地利用

- ・ 守山市は、南部と北部、市街地と田園、守山駅周辺と中部田園地域、湖岸地域等、個性の異なる地域で成り立っています。個性に磨きをかけるとともに均衡ある発展を目指して、エリアごとの地域づくりをどのように考えればよいのでしょうか。

■持続可能性

- ・ 将来世代によりよい環境を残していくために、自然と開発のバランスの適正化や脱炭素社会の実現をめざしていく必要があります。守山市での取り組みや市民の役割のポイントは何か。
- ・ 激甚化する自然災害に備えて強靱なまちに変えていくことが求められます。インフラの整備をはじめとし、自助、共助、公助の視点も加えてどのようなまちづくりを進めるとよいのでしょうか。

5. 将来都市像の設定に向けて

(3) まちづくりの論点

共通：分野を超えたまちづくりの推進

■シビックプライド育成、都市ブランディング

■技術革新への対応、デジタル技術の活用

■多様性社会、グローバル化への対応

■担い手不足へ対応した持続可能性